

令和元年7月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
7月4日	7月23日	<p>ヘルプマーク ヘルプマークを知っていますか？ マタニティマークは知っていても、ヘルプマークはどれだけの方が認識されているのでしょうか？ 恥ずかしい事ですが、私も最近、心臓に障害のある孫を産まれ、静岡県立こども病院に行くようになり、初めてその存在を認識しました！孫が、大きくなる事が出来て、いつの日か自立できる日が来る時、ヘルプマークを鞆に付けられる時が来る時、何人の方が、孫の、窮地を助けていただけなのかと、不安になりました。案の定、私の知り合いにヘルプマークって知っていますかと尋ねて、即答出来る方は、看護大学を出た方だけでした……こういう、生活社会にとって、重要で、人が人と助け合う世の中に、教育の場や、広報のページを割いてでも、知らせていただきたい、もっともっと大切な事ではないかと、危機感を持って、早急な対策を切実にお願いします！</p>	<p>ヘルプマークが多くの人に認知されることで、援助や配慮が必要な人に行き届く「共生社会」に繋がることから、本市でも広報ぬまづへの掲載(平成30年9月1日号)や、市関係機関へのポスターの掲示、市内の小中学校へのチラシ配架の依頼など周知に取り組んでおります。 また、平成31年2月からは、周囲に配慮や援助が必要な人が、その詳細を伝えるための手段として利用できる「ヘルプカード」の配布も開始しました。その際、平成31年2月15日号の広報ぬまづにヘルプマークと併せて案内を掲載し、現在周知を行っております。 現在、ヘルプマーク及びヘルプカード周知の取り組みは道半ばと考えており、引き続き広報ぬまづやホームページを活用しての周知に努めるほか、関係機関にもご協力いただくなど今後より一層の普及に取り組んでまいります。</p>	障害福祉課

平成30年12月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
12月12日	1月9日	<p>筋力パワーアップ教室の増設 この筋力パワーアップ教室は高齢者が寝たきりや捻挫・骨折などをしないためとか日常生活を円滑にできるようにするために非常に役に立つ教室だと確信しているところです。 前にスポーツジムにいましたが、このようなプログラムがありませんでした。 毎年、要介護・要支援者数が増加し、また、医療費の増加が財政を圧迫しています。 自分自身の健康に責任を持ち、普段から適度な運動が必要です。 この教室の対象者は65歳以上で65歳から79歳までの対象人数は男女併せて4万1千人ほどいるわけですが定員40人だとわずか0.1%です。勿論、運動がやりたくてもできない人などもあります。 応募人数が不明ですが、定員を増やすとかまた、週に火・木／水・金の2教室するとかして筋力パワーアップ教室の増設をお願いしたいと思います。 ぜひ、沼津市の高齢者を元気にしてください！</p>	<p>筋力パワーアップ教室は、高齢者の筋力低下による転倒や骨折、身体能力や意欲の低下を防止し、習慣的な運動による介護予防を目的として、平成15年度から実施しています。 本教室は、参加することでストレッチ体操や筋力トレーニングの方法を習得するためのものであり、終了後は、ご自身の生活に合わせて運動が習慣化されることを目指した教室内容としています。 そのため、多くの高齢者が筋力パワーアップ教室に参加できるよう、初めて教室に申込みをした新規参加者を優先し、経験者については抽選としております。 現在、市では、教室で学んだ内容を基に自主的に運動を継続していただくために、教室の増設ではなく、地域のサロン等で体操を普及する健康体操サポーターを養成するなど、地域の方による地域での健康増進の場づくりの拡充を行っているところです。 また、健康体操サポーターが中心となり体操を行っているグループや、筋力パワーアップ教室経験者が集まり運動を継続しているグループもいくつかできているため、ご利用いただけますようお願いいたします。 ご希望があればお住まいの近くのグループを紹介させていただくこともできますので、ご連絡いただければと思います。</p>	長寿福祉課
12月17日	1月18日	<p>放課後児童クラブの時間 今沼津市の保育園に通わせていただいている保護者ですが、小学校にあがると放課後児童クラブが18時までの17:30までの仕事が終わってからの迎えに間に合うかどうか不安があります。 最近まわりの市町村では18:30までの預りの放課後児童クラブが増えていますが沼津市は18時までの私を含めてお迎えが間に合わないと言う理由で他の市町村への移住も考える世帯もあるかと思えます。 30分延長していただくと時間への不安も少なくなり安心して帰宅できる方も増えると思えますのでご検討をお願いいたします。</p>	<p>放課後児童クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対して、授業の終了後、施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。 ご意見をいただきましたとおり、当市の放課後児童クラブは18時までの開所となっておりますが、開所時間延長のニーズがあることは把握しております。 そのため、昨年度から開所時間延長について、運営を委託している沼津市放課後児童クラブ連絡協議会と協議をしているところですが、時間延長により、勤務する支援員の労働条件の変更を伴うこと、受け皿拡大により新規支援員の人員確保が困難となること等から、開所時間延長については、慎重な検討を要するとの結論に至っており、この課題については、引き続き検討・協議してまいります。 また、現在、小学校等へのお迎えや子どもの預かりなどを支援する「ファミリー・サポート・センター」を沼津っ子ふれあいセンター内に設置しております。放課後児童クラブのお迎えにこちらをご利用されている方もいらっしゃいますので、ご活用を、ご検討いただければと存じます。 今後とも市民の皆さまのご意見を参考に、子育てのしやすい環境づくりを目指して取り組んでまいります。</p> <p>※ファミリー・サポート・センターとは 子どもの習い事の送迎、放課後児童クラブや保育園のお迎え等、安心して働くことができるよう、また急な用事で一時的に子どもを預かってほしい方のために、センターを通して依頼できる会員制の組織です。 入会方法や費用、仕組み等の詳細は、市ホームページもしくは事務局に直接お問い合わせください。 沼津市ホームページ→「沼津市子育てポータルサイト」→「預ける(保育園や一時預かり)」→「ファミリー・サポート・センター」 ファミリー・サポート・センター事務局 場所:沼津市大手町1-1-3 沼津商連会館ビル4F(沼津っ子ふれあいセンター内) 電話:055-952-8078</p>	子育て支援課

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
12月19日	2月5日	<p>門池小学校 学童保育 急な人数の増加による定員オーバーによる定員オーバーがでる。校区の区切りの変えるようなことをしてほしい。(岡の宮を金岡へ)</p>	<p>門池小学校区では近年、児童数が増加し、今後、普通教室の不足が見込まれることから、現在、平成31年8月中の完成を目指し、校舎の増築を行っているところであります。 放課後児童クラブも利用者数が増加しており、昨年度に1クラブ増設し本年度も秋までに2クラブの増設を予定しているところです。しかしながら、平成31年度の入会につきましても、たくさんのお申し込みをいただきました結果、年度当初に多くの待機児童が発生することとなりましたことから、門池放課後児童クラブを運営している運営委員会及び関係者と待機児童の受け入れについて協議を重ねましたところ、職員を更に増員し、クラブ完成までの間、緊急的措置を取ることで、できるだけ多くの児童を受け入れることといたしました。 また、学校区の見直しについては、通学時の安全確保や様々な学校運営への影響を十分考慮する必要があるとともに、学校区は自治会や子ども会活動など、地域と非常に密接なつながりがあるため、関係する全ての自治会等との十分な協議と地域住民との合意形成が必要不可欠となります。このことから、学区を早急に見直すことは困難であります。今後の児童数の推移等を踏まえつつ、学校の適正規模・適正配置や学区のあり方について、必要に応じ地元とも協議しながら研究してまいります。</p>	子育て支援課

平成30年9月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
9月3日	9月25日	<p>学童クラブの6年生までへの延長</p> <p>お世話になっております。 前回も同様学童について問い合わせさせて頂いた所、回答は順次増やしています。でしたが、私が5年位前にも同様に待機解消について聞いた時も同じ回答でした。 変質者情報などが増えて外で自由に遊べない、また習い事が多く外で友達が見つからないなど親も子供も不安に駆られながら親は車を飛ばして1人で留守番する子供に会いに危険な運転ながらも急いで帰る日々です。 子供は貴重な宝、社会で育てるといいながら、何年も学童待機も6年生までの延長も解消されず、回答は何年間も同じく、順次増やしています。調べると子供が少ない場所は待機も6年生延長も可になっている。以前から多い地区は何にも変えていない。これは増やしているになるのでしょうか？ただ受け入れを可能と書き換えただけであり、元々定員割れしているのだから、増やしているにはならないと思います。 こうした対応が沼津市からの市民流出につながっているとは思えないでしょうか。 再度同じ回答が来ない事を祈り年内には全ての地区が6年生までになると返事が来る事を祈りつつご質問致します。 市内全箇所の6年生までの学童クラブの延長はどのようにお考えでしょうか？ 他市に比べ沼津市の子育て支援が進んでおり、市政に関わる方達は誇りを持って私達市民に対応して頂けていらっしゃるでしょうか。 2点につきお答えを頂きたいです。</p>	<p>放課後児童クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対して、授業の終了後、施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。 当市の放課後児童クラブは6年生まで入所の申込みが可能となっております。しかしながら、ご意見をいただきましたとおり、地域によっては多数の入会申込みをいただき、やむを得ず入所ができず、高学年の児童が入所できていないクラブもあることから、入所を希望する高学年を含めたすべての児童の受け入れができるクラブの増設は必要であると考えております。 具体的には、原小、門池小のクラブにおいては、定員を超える申込みがあり、6年生までの全ての児童の受け入れができていない状況にあります。この2つのクラブに対しましては、今後の児童数の推移を考慮しつつ、現在、学校等の関係者と協議を進め、クラブの増設に向けた検討をしているところです。引き続き、市内全校におけるクラブの待機児童数を把握するとともに、利用者等のご意見も伺いながら、順次、施設を整備することにより、待機児童の解消を進めすべての児童が入所できるよう努めてまいります。 本市での先駆けた子育て政策といたしましては、妊娠・出産・子育てのワンストップ相談窓口や子育て応援サービスを紹介する「マミーズほっとステーションぬまづ」を開設し、母子保健コーディネーターによる子育て悩み相談支援を行うほか、市内10か所に「子育て支援センター」を設置して、子育てサポートに取り組んでおります。また、昨年10月には、県東部初となる子ども医療費を高校生まで完全無料化を実施したところです。 今後とも市民の皆さまのご意見を参考に、子育てのしやすい環境づくりを目指して取り組んでまいります。ご理解をお願いいたします。</p>	子育て支援課

平成30年7月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
7月19日	7月30日	<p>ヘルプマークの啓発 小生、ヘルプマークを付けて歩行している障害者です。 通勤、通院時に電車を使うのですが、ヘルプマークについてのことが周知されておらず、社会的にも知られていない制度だと気付きました。実際、マークには目に入っている人もいますが大部分の人は見て見ぬふりしている様に見受けられます。 JR、私鉄、バス等にはたらきかけてもらって、ヘルプマークへの認識を知ってもらえる様、何かしらの掲示物をおいてもらえる様にしてください。</p>	<p>ご指摘のありましたJR、私鉄、バス会社等へのヘルプマークの普及啓発につきまして、援助や配慮を必要とする方のヘルプマークでの意思表示により、周囲の方がヘルプマークに気付いて行動していただくことが必要であることから、県と協力しながら各機関へポスターやステッカーの掲示依頼等を進めているところです。また、本市関係機関へのポスター掲示やチラシの配架、本市ホームページでの情報発信なども行っており、広報ぬまづ等での周知も予定しております。 今後も多くの方にヘルプマークについて知っていただき、援助や配慮が必要なみなさまにとって、やさしく暮らしやすいまちとなるよう努めて参ります。</p> <p>※ヘルプマークは、白杖や車いすなどを使う視覚や肢体に障害のある方はもとより、義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病の人、または妊娠初期など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている人が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることで援助を受けやすくなるよう作られたマークです。東京都で平成24年度に導入が始まり、静岡県では平成30年2月から配布を始めています。本市においても、同月より障害福祉課窓口で配布を行っています。</p>	障害福祉課

平成30年6月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
6月5日	6月15日	<p>母子家庭等の手当について</p> <p>私は中2、小1の子を持つ母です。自分の都合で母子となり、さまざまな手当を戴いております。ありがとうございます。今年になり下の子が小学校へ入学し、昨年より家計が苦しくなりました。保育所時代は月の集金が2,000円未満、保育料は免除して戴いておりましたが、小学校では月の集金10,000円、学童7,000円。月の集金は給食費等が含まれておりますので、半年ずつ返金がありますが、私はそれを、その後の集金用として貯めていますが、その貯めている分より集金額の方が当然多いので。学童はせめて2年生になるまではお世話にならなければ、放課後や夏・冬・春休み、家で一人になってしまうので。</p> <p>保育園、無料化、医療費無料化も良いのですが、一人で二人を育てる母に助けをお願いします。</p> <p>市営や県営に申し込んでも当たらず、住居費も圧迫しております。</p> <p>第一に母子家庭となった自分自身が悪いのですが、この先高校、大学と成長していく際、進みたい道に行かせてあげられるのだろうか悩む毎日です。</p> <p>どうぞお考えください。</p>	<p>二人のお子様をお一人で育てられているご苦労をお察いたします。ひとり親家庭の支援としては、主なものに、児童扶養手当や母子家庭等医療費助成制度があります。ご意見ではすでに手当等は受けているということですが、ほかにも、学用品費や給食費等を補助する就学援助制度や低利又は無利子で借りることができる母子父子寡婦福祉資金貸付金等、様々な支援制度がありますので、一度ご相談いただき、ご家庭に適した支援策と一緒に考えていきたいと思っております。市役所こども家庭課では、いつでも相談に応じますので、934-4868までお電話ください。</p>	こども家庭課

平成30年5月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
5月1日	5月16日	<p>学童クラブ3年生までで退所について はじめまして。</p> <p>私の住む地区では、学童が多く、他市や他地域では6年生まで受け入れ可能なのに、3年間で、人数が多く、空き教室が無いからと退所させられてしまいます。</p> <p>30年間ずっと多い為と同じ理由から待機させられ入れなかったりと、何の対策もされず放置です。住民と子供が多いのがずっとなのに、何故多いからという理由で断られるのでしょうか？子供達が1人家で留守番をして居る環境が果たしていいのか、何故これまでなんの解決策が無かったのかを御解答をお願いいたします。</p> <p>子育てし易い市へ引越した方が子供の為とも考えています。</p>	<p>放課後児童クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後、施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。</p> <p>この事業は、平成27年度の児童福祉法の法改正により、受入れ児童の枠を、これまでの「10歳(3年生)まで」から「小学校に就学している児童(6年生)まで」に拡大しております。</p> <p>従いまして、本市においても特別な理由がない限り、6年生まで入所の申込みができるものと認識しており、各クラブを運営する「運営委員会」には指導しております。</p> <p>しかしながら、当市にある放課後児童クラブの中には、地域によっては多数の入会申込みをいただき、やむを得ず入所ができず、待機児童が発生しているクラブもございます。</p> <p>このように待機児童が発生しているクラブに対しまして、平成28年度には金岡小に3つ目のクラブの増設、平成29年度には第五小に2つ目、門池小に3つ目、大岡南小に2つ目の増設を行ってまいりました。</p> <p>また、平成30年度には愛鷹小に3つ目、沢田小に2つ目、開北小に2つ目のクラブの増設を予定しております。</p> <p>小学校の児童数は年々減少の傾向にあるものの、放課後児童クラブに入所を希望する児童の割合は、未だ増加傾向にあることから、今後においても各学校の児童数やクラブの入所状況を考慮しつつ、小学校や関係者と協議を行い、順次クラブの増設に努めてまいります。</p> <p>今後とも市民の皆さまのご意見を参考に、子育てのしやすい環境づくりを目指して取り組んでまいります。</p>	子育て支援課

平成30年4月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
4月5日	4月19日	<p>子供の保育料 子供の保育料が第2子は同時期に保育園に通わないと半額にならず満額。 近隣の町は、第2子なら同時期でなくても半額です。働く若い世代を沼津に呼びたい、または子供を産んで欲しいと考えるなら、これを見直して下さい。又、小学校の学童保育の金額も近隣に比べて割高。沼津に引っ越したが、今では第2子が産まれて後悔しています。どうせ東部をえらぶなら他の町にすればよかったとさえ思います。子供をもつ世代にやさしくしてください。</p>	<p>沼津市では、近隣の駿東地区3市3町で共同して、平成28年度から子どもが3人以上いる世帯の保育料を年収制限及び子どもの年齢制限を完全撤廃して、第2子半額、第3子以降の無償化を実施しました。その中で、更に子どもが2人いる世帯について、第1子の年齢に関係なく第2子を半額とする自治体も出てきました。 現在、本市では同時期に保育園に通っている場合に半額の適用をすることとしておりますが、国においては、幼児教育無償化へ向けた検討を進めていることから、その動向にも注目しつつ、今後の課題として考えてまいります。 また、本市の学童保育の料金は、保育料(指導料)の月額4,000円に、おやつ代・教材費などを各クラブで加算しております。加算する金額については、おやつの内容や行事の内容によって金額に差異が出ることから、各クラブや各市町を一概に比較することは難しいと考えております。 本市では、他市に先駆けて高校生以下の子ども医療費の完全無料化や、専用車に玩具を積んで地区センターを中心に保育士が市内17会場を巡回する子育てサポートキャラバンぴよぴよ号の実施など、市独自の子育て支援にも取り組んでおります。 今後も、市民の皆様のご意見を踏まえ、より子育てしやすいまちを目指すとともに、多くの皆様に子育て支援のための事業を利用していただけるよう、周知・PRに努めてまいります。</p>	子育て支援課

平成30年3月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
3月8日	3月27日	<p>児童館の設置について 三島市、裾野市にはありますが、沼津市には児童館がありません。 就学前の子どもと親が利用するこあらのような施設ではなく、0歳から18歳までの子どもが誰でも安心していられる居場所として、ぜひ子育てを安心してできる場所として児童館を作っていただきたいです。 学校や家庭での居場所がない子どもの受け皿になれる可能性を限りなく秘めている場所になりえます。 よろしくをお願いします。</p>	<p>沼津市では「児童館」といった名称の施設は設置しておりませんが、市内10ヶ所に子育て支援センターを設置するとともに、18歳未満の方から交流の枠を広げ、高齢者までを含めた交流活動施設として「サンウェルぬまづ」や「千本プラザ」、「地区センター」「くるら戸田」などの他市町にはない施設を、市内各所に設置しています。 さらに、サンウェルぬまづの5階には子育て支援センター「ふれあい交流室」を、乳幼児から高齢者までが集う、ふれあい室内公園として開設しており、乳幼児、小学生、中学生、高校生はもとより高齢者の利用もあり、安心して過ごせる居場所となっております。 今後も、市民の皆様のご意見を踏まえ、より利用しやすい施設運営を目指していくとともに、より多くの皆様に利用していただけるよう、施設の周知・PRに努めてまいります。</p>	子育て支援課
3月19日	4月3日	<p>自立支援医療受給者証の申請について 自立支援医療受給者証の申請を、もっと早く出来るようにしてほしい。毎回申請するたびに新しいものが来るのが遅すぎる。</p>	<p>自立支援医療は、申請受付等を市町で行っておりますが、県が実施している制度です。県に送付した申請書類は、月2回開催される県指定医師による判定会で審査され、受給の可否が決定されます。 現状、申請されてから最終的に申請者に新たな受給者証が届くまでに3カ月程度かかかっておりますが、頂きましたご意見は、県に伝えてまいります。 なお、制度上、受給者証の有効期限の3カ月前から申請を受け付けることができるため、市といたしましては、早めの申請をご案内しており、また、申請書の控えを医療機関に提示していただくことで、受診を続けることができますので、ご承知おき下さいますよう、お願い致します。</p>	障害福祉課

平成29年10月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
10月2日	10月31日	<p>保育園入所について 兄弟が通っている保育園に、下の子が入園出来ず、大変困っています。復帰は決まっているので、会社にも迷惑がかり、困っています。 このような事がないような環境にしていきたいです。</p>	<p>ご兄弟で同じ保育園に入ることができず大変お困りの心中、お察しいたします。 多くの保育園において0,1,2歳児のクラスで受入可能人数を超える希望があり、ご兄弟の入園への配慮を踏まえても入園が困難な状況が続き、ご希望に応えることができず申し訳ございません。 利用調整にあたり、ひとり親世帯、保護の必要な方への配慮とともに、ご兄弟の入園の調整方法について現在検討しております。 また、保育所全体の受け入れを増やし、ご兄弟が揃って入園できるような保育環境の整備にも引き続き取り組んでまいります。</p>	子育て支援課
10月2日	11月16日	<p>放課後児童クラブについて 放課後児童クラブに子どもを預けている人は、夏休み等長期休暇のために預けていて、長期休暇のみの預かりがあれば普段は必要ないとか、長期休暇のみでもOKなら預けたいと思っている人が多いと思います。学校の多目的室等を利用して、長期休暇のみの預かりをしませんか。 10年位前にも同じ提言をしたら、安全性に問題があると断られましたが、それはつまり面倒でやりたくないということですね。このことをママたちに伝えたら、普段過ごしている教室が危険だから使えないという理由はおかしい、と皆怒っていました。</p>	<p>学校の長期休暇時に、保護者の方が働いて他に子どもの面倒を見る人がいない家庭にとっては、子どもをひとりにする時間が長いことなどから、放課後児童クラブの必要性は高いものと認識しております。このようなことから、既設の放課後児童クラブでは、長期休暇時には開所時間を朝8時から夕方6時まで対応しているところですが、一方、長期休暇時のみのクラブを別に設置することは、開催場所や人材の確保等、多くの課題があるため、引き続き検討して参ります。 今後も市民の皆様のご意見を参考に、子育てのしやすい環境づくりを目指して参りますので、ご理解とご協力の程よろしくお願ひいたします。</p>	子育て支援課

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
10月6日	11月1日	<p>門池小学校内の放課後児童クラブ駐車場について 門池小学校の校舎建て替えに伴い、放課後児童クラブがプレハブになっていますが、駐車場がなく運動場を利用しているため、雨の日に泥がすごい状態です。 また、近隣の道路も狭いため、近隣のお家にも迷惑がかかっています。改善をよろしくお願いいたします。</p>	<p>門池放課後児童クラブのお迎えにつきましては、学校内に駐車スペースが少ないことからやむなく運動場の一部を車両の一時的な駐車スペースとして使用していますが、ご指摘のとおり、雨天時に大変足元が悪くなるだけでなく、車両通行により地面が著しく凸凹な状態となるため、お迎えに大変な支障を来しており、早急に対策を講じるべきものと認識しております。 雨天時の運動場の、具体的な対策については迅速かつ有効な方法を現在関係部署と検討しており、結論が出次第速やかに対策を講じますので、それまでの間大変ご不便をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。 また、現在の門池小学校周辺における道路状況において、直ちに効果的な対策を講じることは困難と考えておりますが、学校側とも極力支障が出ない方法を協議して参ります。利用者の皆様及び近隣住民の皆様には申し訳ありませんが、ゆずり合いや安全な運転をお願いしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p>	子育て支援課
10月27日	11月15日	<p>申請書様式のネット上の公開について 沼津っ子ふれあいセンター(ぼっぼ)を時々利用させていただいている者です。利用時に申請書と問診票を提出しますが、インターネット上に様式が無いようです。 事前に記入して持って行ったほうがスムーズなため、以前いただいた申請書をコピーして使っていますが、WordでもExcelでも構いませんので、様式をインターネット上に公開していただけませんか。 特に申請書は記載項目がほとんど変わらないため、2度目以降の利用時の利便性向上にもつながります。 なお、既にどこかに公開されているようでしたら、大変失礼しました。その場所をご教示いただけますと幸いです。</p>	<p>沼津っ子ふれあいセンター(ぼっぼ)をご利用いただきありがとうございます。 ぼっぼの玩具や遊具等の利用については特に申請書等の提出は不要ですが、一時預かり保育を利用される場合は、利用申込書及び問診票・同意書の提出をお願いしています。 ご指摘のとおり、ホームページ上に様式を掲載しておりませんでしたので、Word形式で掲載いたしました。 掲載場所は、沼津市公式ホームページ内「いきいき！沼津っ子」の中の「沼津っ子ふれあいセンター(5時間までの一時預かり)」内にありますのでご活用下さい。</p>	子育て支援課

平成29年9月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
9月26日	10月6日	<p>病児保育、病後児保育の無料化、充実化について 10月からこども医療費が無料となり、「やっとだ」という思いでいっぱいです。 近隣市町では、どこも無料化されているのに、なぜ沼津だけ・・・と、ずっと思っていました。 18歳までという年齢、この辺りではなかなか聞かないのでありがたいです。 三島では、病児保育、病後児保育が無料化されており、とても素晴らしいと思いました。 身内が近くにいない共働き世帯では、このような制度があるかないかで、家を買う地域を決めることもあると思います。沼津でも制度の充実をよろしく願います。</p>	<p>こども医療費については、近隣市町が中学生まで無料が多いなか、沼津市では10月から18歳まで無料とさせていただきます。これには多くの財源を必要としましたが、県下で最も充実した取り組みになっております。</p> <p>また、病児保育や病後児保育については、一定の基準を満たした施設に対して市から補助金を支出しており、病児・病後児保育の利用料は、実施施設である保育園や認定こども園が設定しております。</p> <p>近隣市町において利用料を無料にしているところもありますが、本市と同程度の利用料がかかるところもあり、近隣市町の状況や他の保育サービスとのバランスなど包括的に判断し、教育・保育に関する制度の更なる充実に向け取り組んでまいります。</p>	子育て支援課

平成29年8月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
8月31日	10月2日	<p>高齢者支援事業の取り組みについて ひとり暮らしの高齢者のため、入院時の保証人(身元引受人)や死亡時の遺言執行人への通知人となることなどの高齢者支援事業を、市或いは公益機関(社会福祉協議会など)の事業に取り入れていただきたい。 足立区社会福祉協議会では「高齢者あんしん生活支援事業」として実施しており、同等あるいは、より充実した事業をお願いしたい。</p>	<p>沼津市社会福祉協議会では、足立区社会福祉協議会が実施している保証人に準じた支援は行っておりませんが、日常生活自立支援事業として、認知症や知的・精神障害等により、日常生活を営む上で必要な福祉サービスを自分の判断で適切に利用することが難しい方を対象に福祉サービスの利用援助などの事業を実施しております。 また、市では高齢者よろず相談相談窓口を設置し、市民の方から相談等があった場合には、地域包括支援センター等の関係機関と連携して、医療機関への事情説明、親族への連絡調整等を行うとともに、本人の心身の状況及び経済状況によっては養護老人ホームへの措置入所や生活保護相談へのつなぎ支援を行っています。 今後も引き続き、社会福祉協議会や関係機関と連携し、サービス内容の拡充について検討してまいります。</p>	長寿福祉課

平成29年6月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
6月6日	6月20日	<p>「障害者」という言葉について</p> <p>「障害者」と「身障者」、二つの言葉を比べると、どう思いますか？「身障者」がどう思っているのか？私は、「障害者」という言葉を使わないようにした方が良いと思います。</p> <p>市には障害福祉課があるように様々な所で、「障害者」という言葉が使われています。例えば、大手町の駐輪場です。駐輪場内には、自転車、バイクの「障害者」優先スペースが設けられています。これは、思いやりで良い事だと思いますが、同じ思いやりなら「身障者」優先スペースとした方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>まずは沼津市が条例を改正して、「障害」という言葉を使わないようにしてはどうでしょうか。沼津市が発信元となり、これが、県から全国に広がれば幸いと思います。</p>	<p>「障害者」と「身障者」の使い分けについてですが、身体に障害のある人を意味する場合には「身体に障害のある人」や「身体障害者(身障者)」等の表記を主に使っています。また、知的障害や精神障害のある人も含める意味ならば、「障害のある人」や「障害者」という表記としています。</p> <p>また、「しょうがい」の表記は、「障害」「障壁」「障がい」等複数ありますが、国は、平成22年11月22日に開催された第26回障がい者制度改革推進会議の「『障害』の表記に関する作業チーム」の検討結果に基づき、法令等の表記について、当面はこれまでどおりの「障害」という文字を用いることとしております。同作業チームの報告には、各表記に対する様々な団体等の考え方が示されておりますが、本市ではなるべく国と統一した表現が望ましいと考え、「障害」という表記をいたしております。</p> <p>ご理解いただきますようお願い申し上げます。</p>	障害福祉課

平成29年5月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
5月22日	6月8日	<p>愛鷹地区の放課後児童クラブの充実等について</p> <p>私は愛鷹の中尾団地に住んでおります。病気を抱えての療養生活の為、なかなか申し上げにくい事ではあります。放課後及び休日などにおいて、元気の有り余る小学生たちの事を考えますと、団地敷地内での活動より、もっと健全な市のバックアップ体制が必要と考えております。</p> <p>まず、その為にも幾つかの提案がございます。2つ目の提案は、放課後児童クラブの充実を図り、共働きや一人親世帯などの家庭の小学生を対象に、今現在以上に利用の拡大と充実を求めます。その為には、放課後もなるべく小学校を開放し、学びや遊び場を提供し、子供の課外活動を推進する事を求めます。</p> <p>勉強だけでなく、様々なレクリエーションなどを通して人間関係を構築し、子供の成長と自立を促し、育成を図る事を望みます。その為には、NPO法人などの協力も得て、活動の範囲を広くし、利用者の認知度や信頼を得る事を求めます。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>保護者が労働等により昼間家庭にいない小学児童に対し生活の場を提供する「放課後児童クラブ」につきましては、平成29年5月1日現在で市内22小学校に30クラブがあり、1056人の児童が在籍しており、愛鷹小学校には現在2クラブ設置しております。</p> <p>今年度におきましても、地域の実情に合わせ2クラブの増設を予定しており、引き続き、市内全域における放課後児童クラブの待機児童解消に向けたクラブの増設や充実等を推進する中で、愛鷹地区におきましても、クラブの状況を把握して必要な対応を図ってまいります。</p> <p>また、市内の小学校におきまして、当該小学校に通うすべての小学生を対象として「放課後子ども教室」を設置しております。これは放課後等に子ども達に勉強やスポーツ、地域住民との交流の機会を提供することにより、子ども達が地域社会のなかで健やかに育つ環境を提供することを目的として、月に1回～4回開催するものです。</p> <p>現在、市内5つの学校で開設し、愛鷹小学校にはございませんが、開設にあたり協力が必要となる地域ボランティアや学校、PTA等との調整を図り、設置について検討してまいりたいと思います。</p>	子育て支援課